

平成30年度 第3回島田宿大井川川越遺跡整備委員会

日時 平成30年12月13日
午後2時～午後4時
場所 島田市博物館 講座室

次 第

1. 開会

2. 島田市教育委員会文化課長 あいさつ

3. 議事
(報告事項)
平成30年度川会所跡発掘調査について

(協議事項)
島田宿大井川川越遺跡整備計画(案)について
別冊 『島田宿大井川川越遺跡整備基本計画(案)』

4. その他

5. 閉会

(報告事項)

平成30年度川会所跡発掘調査について

平成28年度より実施した発掘調査により、検出された痕跡から2種類の根石と礎石から3回の建替えが想定されます。

1期(初期)

11 トレンチから検出されているP1からP7で構成される。柱痕跡は直径40～50cm、拳大の河原石を入れて根石としている。隙間に砂利は入れていない。柱は2m間隔で配列している。街道に面した建物で初期の川会所と考えられる。遺物は根石からは出土していないが、14 トレンチの高さから志戸呂焼の灯明皿類が出土しており、18世紀中から後半と考えられる。

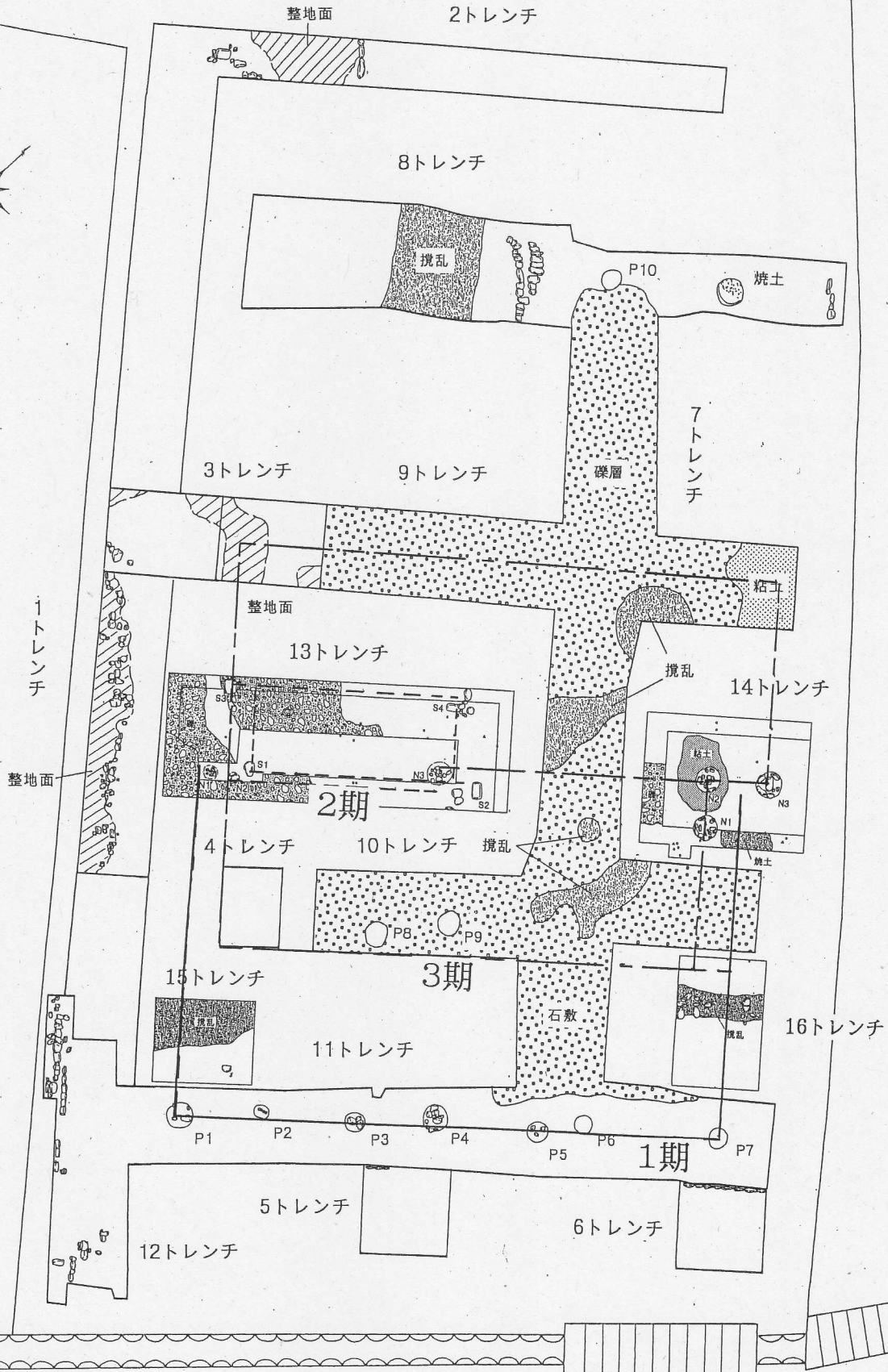
2期(安政以前)

13 トレンチから検出された大型の河原石4個で構成される。直径30cmほどの河原石を礎石とする。石を安定させるために数個の根石を使用する。柱の間隔は石3と石4が5m強あり、3間と想定される。遺物は出土していないが、高さから江戸中期から安政以前と考えられる。

3期(安政3年以降)

14 トレンチから根石3基が検出される。大きさは直径60cm、拳大の河原石を設置、隙間に砂利を入れて安定させる特徴をもつ。P2とP3の間隔から現在たてられている安政3年以降の川会所と考えられる。現在トレンチを拡張しているが、同時期の根石痕跡が新たに検出されている。16 トレンチの根石も含まれる可能性がある。

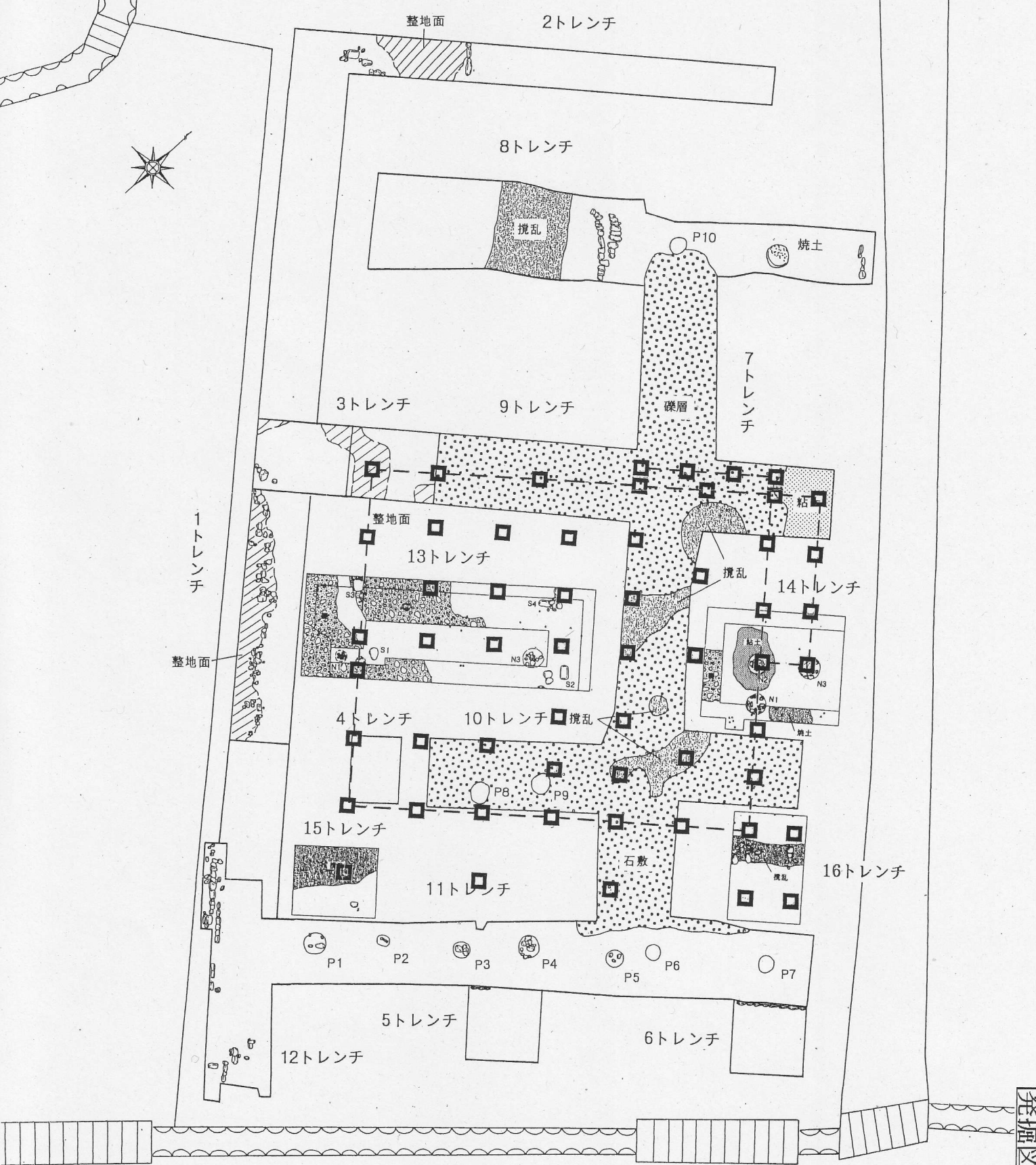
平成28~30年度川会所跡発掘調査



川越街道

0 5m

平成28~30年度川会所跡発掘調査



川越街道

0 5m

(協議事項)

『島田宿大井川川越遺跡整備計画（案）』について

整備計画の変更箇所

1. P1 計画策定の目的 コンパクトに内容を集約した。
2. P5 図1 島田市行政施策の体系と整備計画の位置 描き直した。
3. P21 道路・河川の説明を書き直した。
4. P13 大名行列 江戸時代よりも後に行われるようになったのでは？
→万延元（1860）年・文久3（1863）年の記録あり。
5. P31 発掘の写真 変更
6. P44 高札場 → 川会所跡への復元で記載。
7. P45 川会所跡発掘図面 削除
8. P53、P54 動線図 変更
9. P57 しまだ大井川マラソン in リバティール → 「しまだ大井川マラソン in リバティール」
10. P58 平面図縮尺 以下、調整・統一、図面キャプションの挿入。
11. P59 体験・参加機能の強化、展示ギャラリーとして活用
→川越し関連の・・・・を前につけた。
12. P65 土橋 写真、トリック・アートの表現をやめ遺構表現に変更。
13. 落語の開催 → イメージ図に反映
14. P71 モデルコースの表示を緑色のラインに変更。
15. P77・78 整備イメージ図作成